

## 私の趣味―物作りとこだわりのリモデル

二十六回生 児玉（服部）絢子

事務局の奥田様から1月の中旬頃、今年は何か趣味のことも書いて会誌に寄稿してくれませんか？とメールを頂き、私の拙い作品でも載せて頂けるなら折角の機会なので頑張つて書いてみようと思つたものの諸事情で中々手がつけられず月日が流れ3月に入つてしまいました。

そして3月も10日が過ぎ、漸く取り掛かろうとした矢先に、あの未曾有の東日本大震災が起こりました。東北地方にお住いの会員の方、また御家族、御親戚が被災された会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて私の趣味についてですが、私は子供の頃から色々な物を作るのが好きでした。原点は父が生前若い頃、趣味と実用性を考え、日曜大工で物作りをしていたことと、母がいつも裁縫をしていた姿を見て育つたからかもしれません。

記憶に残っているのは、小学校入学時、父が引

とホームセンターを探しまわつたものでした。

やつと見つけて当時、マンションのペランダ柵の内側に取り付け、吊りポットで季節のお花を育てペランダガーデンングを楽しんでいました。

今ではラティスのサイズも豊富でどこのホームセンターでも手に入る様になったので手作り作品の材料の一部にしています。それでもサイズが合わない時はノコギリを入れ小さくし、枠を付け替え白やオークにペイントして使っています。

孫が遊びに来た時の安全を考えた2階階段からの転落防止扉や窓の内側からの柵等を作るにはラティスは重宝しました。

家具と壁の隙間に柵や引き出し他、作りたい物のイメージが浮かぶとスペースのサイズを測り簡単な図面を描き、板の組み方を考え木材やネジ、蝶番等を買に行きます。

大きくて厚みのある板は正確に寸法を決めホームセンターでカットしてもらい、余つた板も全部持ち帰り小物作りやペイントをする時の台等に利用します。

物作りをしているとどんな曲線でも切れる道具が欲しくなりますが、例えば、円形テーブルを作

き出付きの机を作ってくれたこと、母は遠足の時など必ず新しい洋服を手作りしてくれたことです。

私も2人の娘を持ち、普段着から七五三、卒入学、発表会の時などの洋服を自分の分も併せて全て作っていました。

洋服だけではなく、人形作りやパッチワーク、簾で編む小物作りもしました。娘達も成人した後自分達で好みの洋服を買うようになって私の出番がなくなつたことと、何度も引越しを重ねた長年の社宅マンション住まいから13年前現在のテラスハウスに移り住み住環境が変化したことで作る物も木工品が多くなり、趣味は、女性では珍しい『ミニ大工仕事』に変わりました。

私の作品には細くて長い板を斜め格子に組み、枠に嵌め込んだ「ラティス」を使用した物が多くあります。

頑丈なラティスは今でこそ戸建住宅のウッドデッキやフェンスによく使われていますが、20年近く前、初めてエクステリアの専門店で見かけた時は、そのモダンな斜め格子がとても新鮮に思え、もつと安価で手に入り、気軽に使える物があれば

りたい時は八角形に、半円型にカットしたい時は角を切り落とし徐々に円弧に近づけていきます。ノコギリを使う時は玄関ドアのすぐ外で、ネジ留め等組み立ては屋内で、ペイントは庭の植木や車の陰等、作業中の自分の姿はあまり見られたくないで、なるべく人目につきにくいところで行います。

釘を打ち損じた時は、昔父が「く」の字に曲がつた釘を金槌でコツコツ叩き真つ直ぐに直して使っていたのを思い出し、ネジ留めをする時、反対側を支えるのは階段の段差を利用しますが、昔父には「ここをしつかり持つて」とか「ここに乘つかつて」と言われ、私が父の「助手」をしていたことを思い出します。

父も母も私が洋裁や手芸をしていた頃のことはよく知っていました。大工仕事の真似事の様なことをして私を見たら何て言うかしら？と思ひながら、数々の物作りを続けてきました。

これまでの作品の一部を写真とともに紹介します。



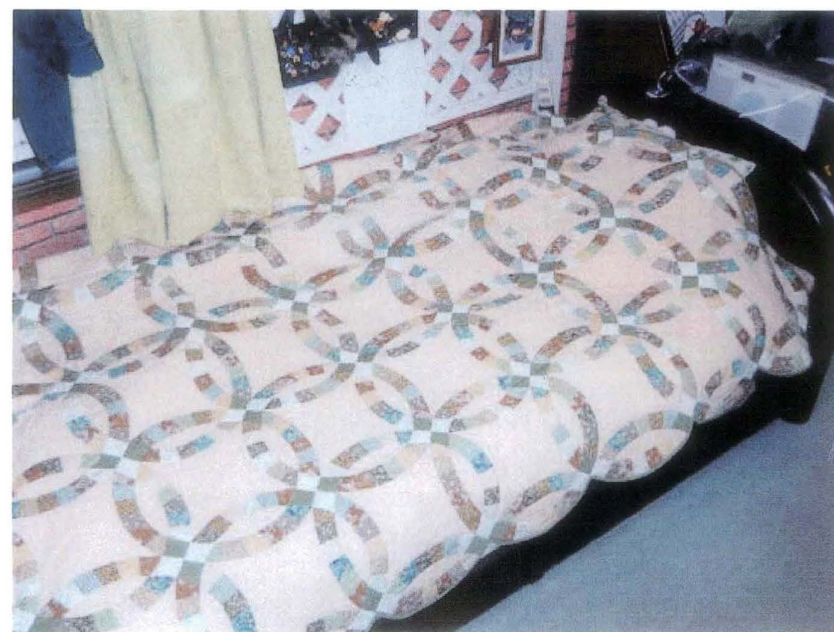
②一番大きな作品は庭の物入れ



娘が撮ってくれた物入れ製作途中の写真



①パッチワーク等昔の手芸作品

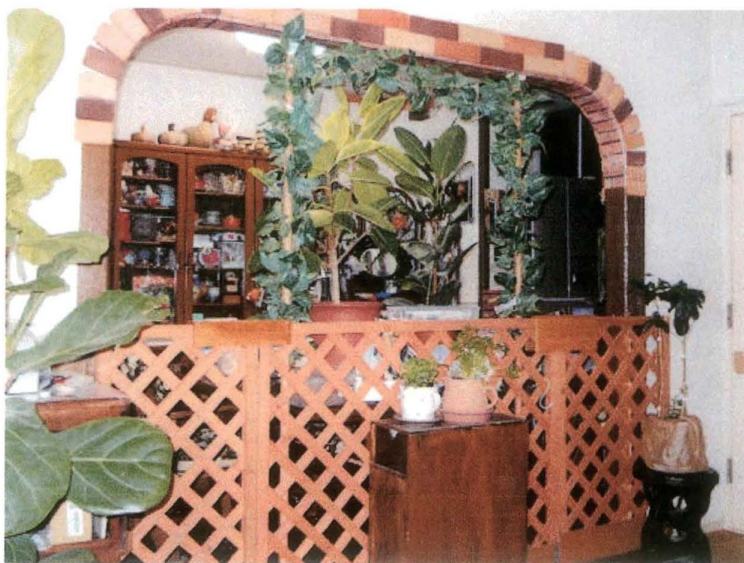




⑤リビングにいる娘の愛犬・シェルティー用のベッド。ワンちゃんのダイニングへの進入禁止の仕切りは釘が打てない場所の為一番頭を悩ませました。強力な突っ張り棒2本で真ん中のラティスを固定し左右両側に蝶番で小さいラティスを繋ぎ左右が夫々手前（リビング側）に開け閉め可能な扉にしました。



手前の真ん中の箱のような物は「ワンちゃん用品」を入れる引き出しを作りました。



③庭に飾る7人の小人を家の玄関や廊下に置いていますが、掃除の時、一体一体持ち上げての移動が面倒なので、片手で複数同時に移動出来るキャスター付きの台。2人乗り用が2つ、3人乗り用が1つで7人の小人用です。



④夏に窓を開け、網戸状態で外出出来る様、窓の内側から取り付けた防犯用の中折れ観音開きのラティス（格子）扉とカーテンボックス

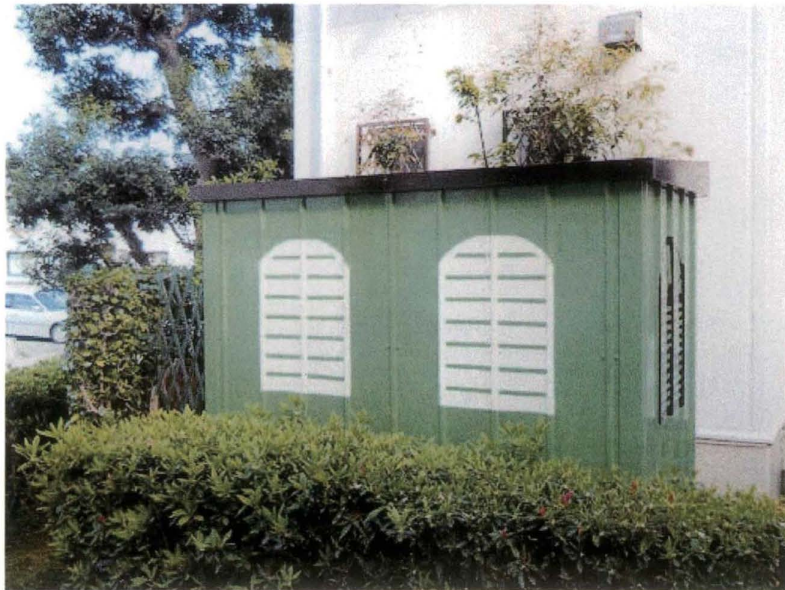




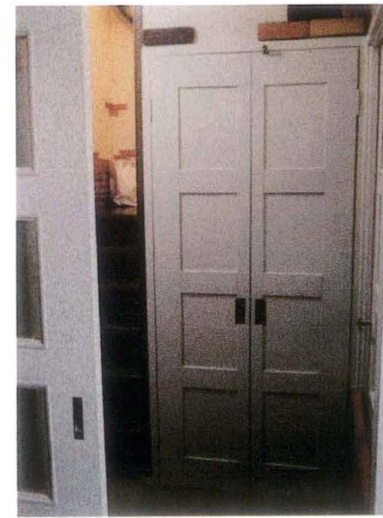
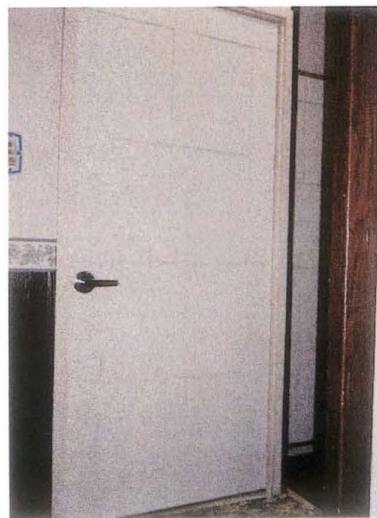
⑧一部が腐った既製の茶色い木製ガーデン小物は、修理し真っ白にペイントしてカントリ調に。



⑨裏庭の物置は、周囲の木々の緑に溶け込むよう若草色にペイントして白い窓の絵を描く。



⑥洗面所入り口や物入れの味気ないフラット扉は、薄い板を上からネジ留めしペイントしてパネルドア風に。



⑦洋室使いしている和室の扉もパネルドア風にし、上部はアーチ型に作った板を嵌め周りには煉瓦模様の壁紙を貼り洋風に。





⑩余った板利用の電話子機台。冷蔵庫横に取り付け、紐やハサミ、ペン入れに。玄関下駄箱の上にも印鑑や車のキー、ポケットティッシュ等を入れる家型の小物入れを。



⑪最後はガーデンテーブル。(椅子は既製品)：天板と脚部分は外すことが出来、天板はパラソルの心棒を立てるとき両側から挟めるよう真ん中から2つに分かれ、テーブルの脚も折り畳め平らになります。昨年の千里山会で奥田英子さん(26回生)に写真をお見せしたことでこの会誌に載せて頂くきっかけとなった作品です。



以上、DIYの達人から見れば稚拙な作品ばかりでも、別段良い道具を持っていない私には作る喜びと出来上がった時の達成感が自己満足の世界です。私は理数系の兄と音楽家の弟の3人兄弟ですが、父の趣味だった日曜大工を受け継いだのは私だけのようです。